

mizade

新会長ごあいさつ

会長叙勲祝賀会を開催
市ブラジル慶祝訪問団を派遣
年交流使節団が来市

会員を募集しています

慶祝団を歓迎する AME 幼少年教育所の子どもたち
日本語で「ふるさと」を歌い、歓迎してくださいました。



鈴木嘉進前会長ブラジル叙勲祝賀会を開催

平成 20 年 8 月 16 日（土）、鈴木嘉進前会長の叙勲祝賀会が、これまでに慶祝団に参加された皆様、訪問団の受入れに参加された皆様など、約 100 名が参加する中、盛大に開催されました。

鈴木前会長は、ブラジル政府公認機関やブラジル日本移民百周年記念協会から、これまでの多大な功績を評価され、グラン・クルス（南十字星）大勲章など 3 つの勲章・表彰を受けられました。この祝賀会は、三尾義彦副会長が発起人となり開催されました。

これまで、グラン・クルス（南十字星）大勲章は、故小池保元市長、小林房吉元市長が受章されていますが、鈴木前会長は、これに加えて、グラン・クルス・コラール ドン・ペドロ I 世十字勲章および笠戸丸表彰も受けられました。

鈴木前会長は、受章に恥じないように今後も両国の友好のために力をささげたいと述べられました。



笠戸丸表彰 表彰状



■ 鈴木前会長のご紹介
 中津川市姉妹都市友好推進協会 会長
 (1997.5.23 ~ 2008.5.31)
 現職 岐阜県公安委員
 中津川商工会議所 名誉会頭
 株式会社鈴木工業 代表取締役会長

鈴木前会長が受章された 3 つの勲章等

- ・ **グラン・クルス・コラール ドン・ペドロ I 世十字勲章**
 ブラジル政府公認勲章機関「世界平和顕彰機構」より、
 地域国際交流促進（人道的支援分野の功績）により受章
- ・ **グラン・クルス（南十字星）大勲章**
 ブラジル政府公認勲章機関「世界平和顕彰機構」より、
 国際文化交流促進（文化・教育分野の功績）により受章
- ・ **笠戸丸表彰**
 ブラジル日本移民百周年記念協会（表彰委員会）より、
 日伯両国関係への多大な貢献者として賞

※ 笠戸丸表彰は、ブラジル日本移民百周年にちなみ、個人では 250 名が受賞、うち日本人は 10 名



グラン・クルス・コラール
ドン・ペドロ I 世十字勲章

グラン・クルス（南十字星）大勲章

1908 年 4 月 28 日、日本人 781 名を乗せた第 1 回移住船「笠戸丸」が神戸港を出航しました。ここに日本人のブラジル移住が始まりました。それから 100 年。笠戸丸から始まったブラジル移住者の子孫は、現在では 140 万人を擁するとも言われる世界最大の日系社会を築き、日系人はブラジル国内でも高い評価を得るようになってきました。

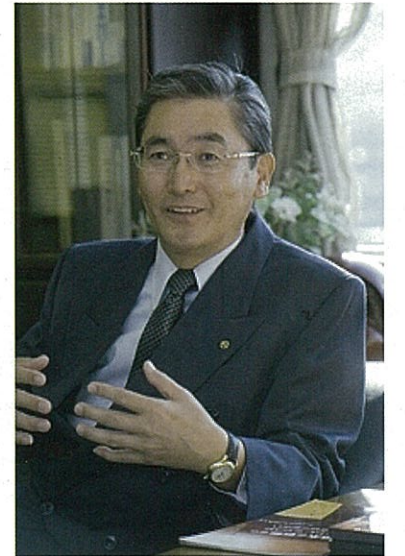
昨年は、移住 100 年という記念すべき年にあたり、日伯交流年として様々な事業が実施されました。中津川市にとって、レジストロ日本人移民入植 95 周年、ブラジル岐阜県人会創立 70 周年の記念の年にあたり、当協会の事業として、30 人の大慶祝団を派遣しました。

レジストロ市は 1913 年（大正 2 年）から日本人入植者の受け入れを行った、日本人移住最古の町で、「移民の聖地」と呼ばれています。このレジストロ市と姉妹都市協定を締結してから今年で 29 年目、来年は 30 周年を迎えます。私は、昨年 6 月から第 4 代会長として、鈴木前会長からバトンタッチをされましたが、鈴木前会長の御功績を改めて感じる中で、30 周年に向けて準備を進めております。

姉妹都市の協定書には、「両市の友好親善を深め、両国の親善を促進し、これが世界の平和と繁栄に貢献することを念願する」と記されています。この精神の通り、日本の大切な友好国として、一層の友好親善に努めるとともに、市民の皆様にもブラジル、レジストロのすばらしさを伝え、提携当初からの民際外交を更に広めていきたいと考えています。

現在、世界中で金融危機に端を発する不況に見舞われています。ブラジルも例外ではありませんが、BRICs の一角をなすブラジルの潜在能力は高く、今後も大きく発展することが予想されます。両市の交流も、新たな展開が開けてくるのではないかと期待しています。

今後とも、市民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。



中津川市姉妹都市友好推進協会
 会長 杉本潤
 2008.6.1 ~



中津川市
市章



レジストロ市
市章

中津川市ブラジル慶祝訪問団を派遣

協会では、平成20年5月21日（水）から『2008日伯交流年・中津川市ブラジル慶祝訪問団』を派遣しました。2008年は日伯交流年（日本人ブラジル移住百周年）にあたり、また、姉妹都市レジストロ市への日本人入植95周年、ブラジル岐阜県人会創立70周年という記念すべき年でもあり、協会名誉会長である大山耕二市長を団長に、鈴木嘉進会長（当時）、丸山輝城副会長など、30名の訪問団となりました。

一行は、日本時間で21日早朝に市役所を出発、成田空港からアメリカ・アトランタを経由して、30時間以上の長旅で、ブラジルの主要都市であるサンパウロに22日正午過ぎに到着しました。（以降ブラジル時間・ブラジルと日本の時差は12時間）

レジストロ市は、サンパウロからバスで約2時間、22日夕方には市長室にクロヴィス・ヴィエイラ・メンデス市長を表敬訪問しました。

夜には歓迎レセプションが催

され、市民250人の歓迎を受けました。両市長、協会長のあいさつの後、大山市長、丸山副会長、三尾義彦副会長にレジストロ名誉市民章が授与されました。また、佐々木悟（レジストロベースボールクラブ会長）、清丸米子（レジストロ連合婦人



大山市長、丸山副会長、三尾副会長、清丸米子氏、金子国栄氏、佐々木悟氏

（会長）、金子国栄（レジストロ日本ブラジル文化協会理事）の3氏に中津川市名誉市民章が授与されました。レセプションでは、レジストロ日本ブラジル文化協会のリベイラ涼風太鼓の皆さんが「ブラジル太鼓ばやし」などの演目を披露されましたが、この太鼓は今回の訪伯に先立ち、協会がレジストロ市に寄贈したものです。

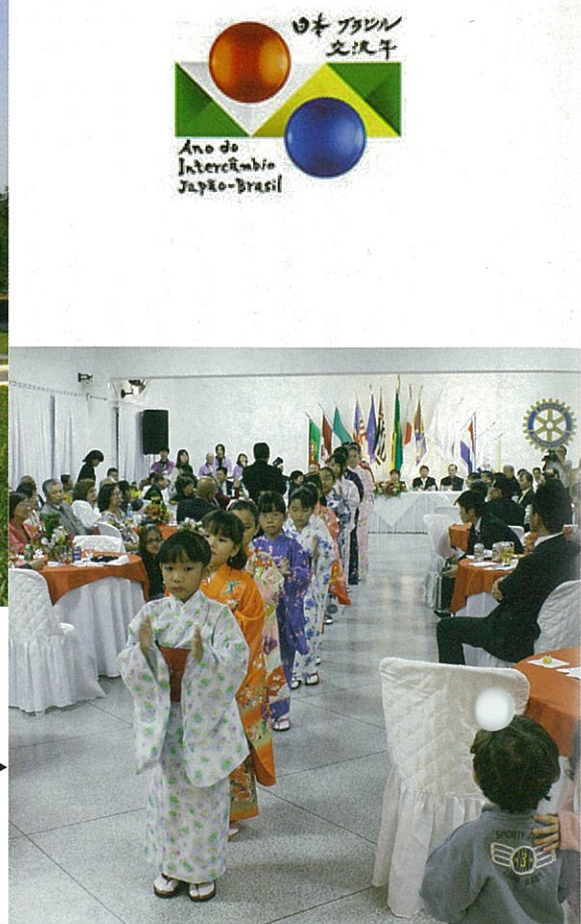
翌23日は、日本移民資料館、サンジョアン病院、APAE身体障害者訓練施設、AME幼年教育所を視察。サンジョアン病院では、中津川ロータリークラブ（丸山輝城会長）が創立50周年事業として、中津川センターロータリークラブ、中津川ライオンズクラブ、レジストロタリークラブ、レジストロタリークラブなどの協賛を得て、新生児医療器具一式を贈呈しました。レジストロ中津川公園では、改修工事の完成を記念して植樹を行いました。

24日は、8時30分からお別れ朝食会が開催され、別れを惜しむ中、2年後（姉妹都市提携30周年）の再会を約束してレジストロ市を後にして、サンパウロへ向かいました。

25日には、サンパウロ市でブラジル岐阜県人会創立70周年記念式典が開催され、古田肇岐阜県知事をはじめ約100人が出席しました。大山市長も県下の姉妹都市提携市の市長を代表して祝辞を述べました。



レジストロ姉妹都市協会 山村敏明前会長、レジストロ市 クロヴィス・ヴィエイラ・メンデス前市長、大山市長、鈴木嘉進前会長



慶祝団一行：サンパウロ市イピランガ独立記念公園独立記念像前にて

レジストロ文化協会の民謡大和会の子どもたち（ロータリークラブ等合同例会）

レジストロ文化協会リベイラ涼風太鼓の皆さんによる太鼓演奏（歓迎レセプションにて）



日本移民資料館にて、グリグループの子どもたちによる出迎え

サンジョアン病院へ新生児医療器具を寄贈するロータリークラブメンバーほかの皆さん



記念植樹をする杉本新会長とレジストロ姉妹都市協会高橋新会長

慶祝団に参加された皆様から、報告レポートをいただきました。その一部を紹介いたします。

中津川市ブラジル公式訪問に参加して

成田から13時間、目が覚めると機内の窓から見下ろす眼下には広大な土地に森と家々、トランジットの為アトラクタに到着しました。皆で和気藹々とそこからサンパウロまで南下するこの時間余りレジストロ市に着いたのは夕方7時を回っていました。私にはそんなに遠く感じなかったのは何故だろう。

早速日本人入植95周年記念レセプションの会場では大勢の皆様に出迎えられた皆さんの歓迎を受けました。なかでも協会寄贈の和太鼓を子供達が見事なバチ捌きで披露してくれたのには、本当に感激いたしました。同席の日系2世の神谷先生が「和太鼓を一生懸命練習する事で、やる気を失っていた子供達の一つの生き甲斐を見つけ目標を持てるようになり感謝しています。」と話して下さいました。

また、日系の皆様は入植地の歴史を子供達に語り継ぎ、日本文化を守っていきたくと話しておられました。

鈴木会長の名譽あるグラン・クルス勲章の授与式にも参加させていただき大変感銘いたしました。

翌日、山村先生が無償でやっていらっしゃる施設に訪問し現地の子供達と触れ合い沢山の感動をいただきました。また、先生が「子供達の笑顔を見ると私は辞めるわけにはいかないし頑張っ続けていきます。」と言ってみえた言葉に頭が下がる思いでした。

今回は、日本移民とその子孫の方々が大変ご苦労なさって今日まで頑張っられた一〇〇年の歴史のほんの一部に触れさせていただき、改めて尊敬と感謝の気持ちでいっぱいになりました。

中津川市とレジストロ市の姉妹交流によって、何か素晴らしい、人として忘れかけていたものを感じることができると思います。是非、皆様一度参加してみてください。有難うございました。

岐伯青年親善交流団4人が中津川市を訪れました

平成20年7月16日(水)第18回岐伯青年親善交流団として、ブラジル青年4人が中津川市を訪問しました。4人は、岐阜県が『岐阜県人ブラジル移住60周年』を契機として、昭和48年度からブラジル岐阜県人会と連携して、ブラジルの青年を岐阜県に招へいし、岐阜県の産業、文化など各分野の実情の視察研修を隔年で実施しているものです。

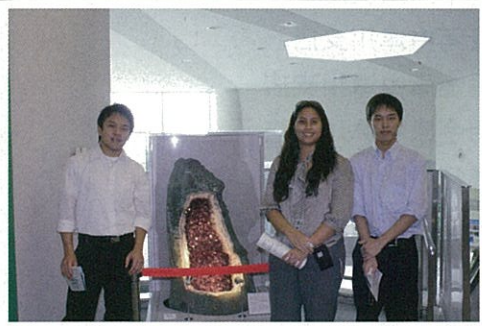
一行は、午前11時に市役所を表敬訪問され、鈴木前会長、市副市長らの歓迎を受けた後、健康福祉会館前の中津川河川公園で、中津川市の花に指定されている「カウロウジウダン」を記念植樹しました。

午後からは、鉱物博物館、馬籠宿を視察し、鉱物博物館ではレジストロ市から寄贈された紫水晶などを熱心にご覧になりました。夜には、協会関係者約30人が参加して歓迎会が開催されました。

4人のうち、柳生ビクトル藤井さん、柳生エキトル武藤井さんの2人はレジストロからの訪問です。



健康福祉会館前 中津川河川公園にて記念植樹をする柳生さんご兄弟



鉱物博物館にてレジストロ市から寄贈された紫水晶のジオード(晶洞)の前に



■団員名簿

- ・林 ヒューバート 佑 男 17歳 高校2年生(パウリスタ高校) 岐阜県人会
- ・吉田 サマンタ キミ 女 23歳 弁護士事務所研修生 カンピーナス日本人会青年部
- ・柳生 ビクトル 藤井 男 21歳 大学生(ポジチーボ大学) レジストロ日伯文化協会青年部
- ・柳生 エキトル 武 藤井 男 18歳 大学生(ポント グロッサ大学) レジストロ日伯文化協会青年部

ブラジル移住百周年記念公式訪問を終えて

私は、ブラジルとの関係を今迄あまり深く考えた事がありませんでした。その中の参加で、あまりに申し訳ない想いで旅が始まりました。レジストロ市に入り、レセプション会場に到着し多くの方々を迎え入れていただき恐縮して会場に入った事を思い出します。そして、多くの地元の方々の話を伺い、中津川市とレジストロ市との関わりを、この二十数年間支え努力されてきた鈴木会長の存在の大きさに、改めて感動しました。中津川公園での桜苗木の植樹、サンジョアン病院への医療機器、和太鼓の贈呈、すべて現地の方々から心より感謝されていることが伝わり、SPに守られ何と凄いなのだらうと思う反面、今後を受け継ぐ杉本氏の荷の重さを思わず考えてしまいました。

今までの鈴木会長の努力されてきた形をそのまま受け継ぎ、ブラジルに対する想いや情熱を大切に若い人たちに伝えていって頂けたらと思います。もっとも若い人達に広げていくことが次の会長の責務と考えます。そして、ブラジルで苦勞された日本人の方々の為にも、今一度ブラジルのことを知り次世代に伝えていけたらと思います。

ブラジルやペルーの日系の人達も、四世・五世と世代が変わり、どんどん日本語を話す人が少なくなってきたりしている現実を見て初めて日本を離れ、海を渡り遠い異国の地で苦勞されてきた人達のことを思う時、それも寂しいことと、何とか日本語を忘れない方法を支援できたらと考えました。簡単に出来ることではないと思いますが。

二日目の夕方、(レジストロ市での出来事です) ホテル脇の靴屋さんでウインドショッピングをしていた時の事です。日系のお婆さんが、私達が知っている事を知りわざわざ訪ねてくれました。私の手を握り、一生懸命話をされているのを聞いて日本へ帰りたい想いが伝わり、心が熱くなったことを思い出します。

そんな人達の為にも、これからも多くの方々に伝えていくことの大切さをつくづく感じた旅でした。

Topics

レジストロ市長にサンドラ ケネディーさん 就任 (2009.1.1 ~)

レジストロ姉妹都市協会の会長に高橋国彦さん 就任 (2008.12.1 ~)

高橋国彦 (たかはし くにひこ)
年齢: 54歳
出身地: 福岡県筑穂町(現: 飯塚市)
1962年(昭和37)にブラジル移住
1980年 イタジュバ建築エンジニア大学卒業
1980-1983 イタジュバ市役所に勤務
1983-1985 日本で建築の研修
1989年 Takahashi Engenharia 設立
1990年 Green 不動産設立(現在に至る)
レジストロ文化協会会館、レジストロベースボールクラブ会館の設計に携わる。
現在
・レジストロ文化協会評議員、役員
・レジストロベースボールクラブ役員
・土木建築農業ヴァーレドリペイラ沿岸地区協合理事



サンドラ ケネディー
年齢: 44歳
ロンドリーナ州立福祉大学卒業後、サンパウロ州健康課に勤務
レジストロ市では、ヴァーレドリペイラ沿岸部の農業支援、家族支援プログラム、国道116号線の救急医療等に携わった。
2000年 レジストロ市長選に立候補
2008年 市長選挙で初当選

中津川市姉妹都市友好推進協会 ご入会のお願い

中津川市姉妹都市友好推進協会では、平成21年度の会員を募集しています。平成22年は、姉妹都市提携30周年を迎えます。それに併せて記念事業を実施する予定にしており、今年度からその準備をしております。これまで以上に多くの皆様のご協力を賜りたく**会員を募集**いたします。

申し込み用紙は、生涯学習課のほか、下記金融機関、中津川商工会議所、市役所案内、各コミュニティセンター、各総合事務所にございます。

会費は、次のとおりです。

個人	一口	1,000円
団体	一口	5,000円
法人	一口	10,000円

右記金融機関には、振込用紙を備えさせていただいています。他の金融機関からのお振込みにつきましては、次の口座までご入金をお願いします。（振込手数料が必要となる場合があります。）

振込先口座

十六銀行中津川支店 普通 656004
中津川市姉妹都市友好推進協会
会長 杉本潤

会費納入取り扱い金融機関

- ・愛知銀行中津川支店
- ・大垣共立銀行中津川支店
- ・岐阜銀行中津川支店
- ・十六銀行中津川支店
- ・十六銀行南中津川支店
- ・東海労働金庫中津川支店
- ・東濃信用金庫中津川支店
- ・八十二銀行中津川支店
- ・東美濃農業協同組合 市内各店
- ・益田信用組合加子母支店
- ・三菱東京UFJ銀行中津川支店

協会ホームページを開設しました。

姉妹都市協会のホームページを新たに開設しました。これまでも生涯学習課のページのなかで、協会について簡単に紹介してきましたが、この度独自のホームページを開設しました。

内容につきましては、順次充実していきますので、皆様からもご意見をお寄せ下さい。

協会ホームページアドレス <http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp/dantai/registro/>

ブラジルに親しむ会

市内サークル「ブラジルに親しむ会」では、姉妹都市レジストロ市のあるブラジルについて、知識を深めています。興味のある方、ポルトガル語を学びたい方は、気軽にご参加ください。

問い合わせ先
ブラジルに親しむ会 酒井
電話 (0573) 66-1795

発行 中津川市姉妹都市友好推進協会 事務局

岐阜県中津川市栄町1番1号 にぎわいプラザ5階
中津川市役所文化スポーツ部生涯学習課内
TEL 0573-66-1111 (内線 4313)
FAX 0573-65-5795
e-mail shogai-e@city.nakatsugawa.lg.jp